NO. 14

オートスラックアジャスターの取扱注意事項

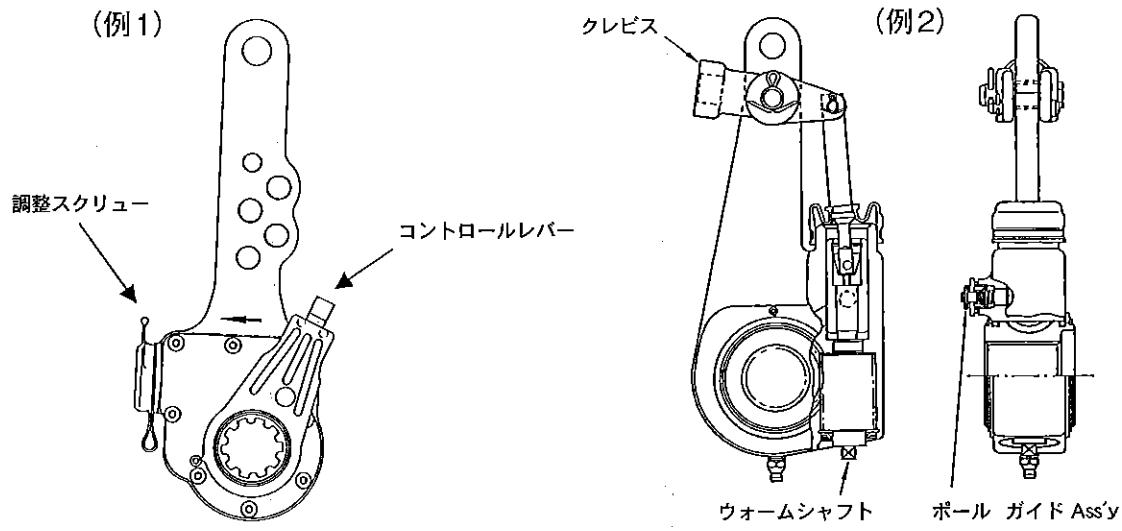
オートスラックアジャスターはブレーキライニングとドラムの摩耗に応じて自動的にその隙間を調整する装置です。

したがって、間違った取扱いをしたり、点検、整備を怠ると制動不能状態となり重大事故の要因となります。

ここにオートスラックアジャスターのサービスマニュアルを作成したのでお役立て下さい。

1．オートスラックアジャスターの機能

オートスラックアジャスターはブレーキライニングとドラムの摩耗に応じて自動的にその隙間を調整する装置です。オートスラックアジャスターの外観は下図に示します。



オートスラックアジャスタ

2．日常点検

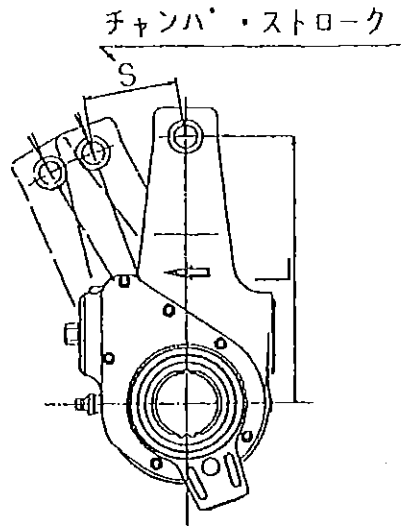
ブレーキの作動、弛めを数回繰り返し、オートスラックアジャスターの動きを点検してください。オートスラックアジャスターがスムーズに動きまた、元の位置まで完全に戻ること（ブレーキチャンバーロッドのストロークに異状がないこと）を確認してください。

※ストロークの測定はトレーラの走行距離や運行時の状態等から判断して適切な時期に実施しても可。

3．定期点検（3ヶ月毎）

1）オートスラックアジャスター本体の変形破損等の点検を実施して下さい。
異状があれば部品を交換して下さい。

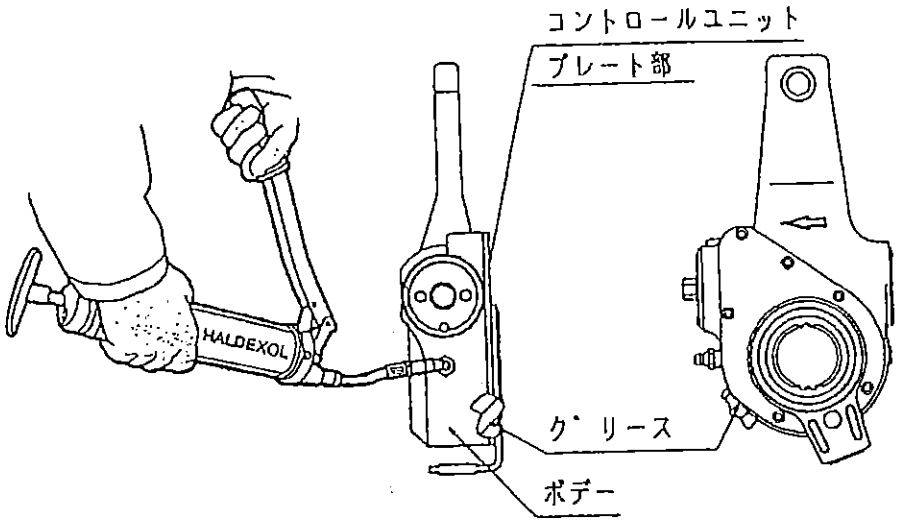
2）規定の空気圧でブレーキを作動させ、ブレーキチャンバーのストロークを点検して下さい。ブレーキチャンバーのストローク及び調整要領は各メーカーの取扱説明書などで確認下さい。



ブレーキチャンバーストローク測定

4．給　脂

各メーカーの取扱説明書などで規定されている給脂基準に従い、オートスラックアジャスター本体のグリスニップルへ指定グリースを十分給脂下さい。



5．取扱い上の注意事項

オートスラックアジャスターを取付けた車両は以下の点に注意してください。

1）オートスラックアジャスターはブレーキライニングとドラムの摩耗に応じて自動的に隙間を調整する装置ですが、メンテナンスフリーではありません。
日常点検及び定期点検の励行をお願いします。

2）車軸バックプレートの点検窓のラバープラグまたは、バックプレートを取り外し、ブレーキライニングの摩耗状態を点検するか、インジケータ（ブレーキライニングの摩耗量の表示）を確認して、ブレーキライニングの残量については常にチェックし、使用限度に達したら、ブレーキライニングは早めに交換してください。

3）日常点検では手動によるブレーキライニングとドラムの隙間調整はしないで下さい。

4）定期点検時及びブレーキライニングの交換後は手動による調整を行なって下さい。
調整の要領は各メーカーの取扱説明書等に従い作業を実施下さい。
ブレーキのライニングとドラムの隙間の初期設定が小さいと隙間の自動調整が上手くゆかず、オーバーアジャスト（隙間を小さく調整しすぎること）になりブレーキの引きずり等の不具合が発生することがあります。

5）非常時やむを得ずブレーキの解除が必要な時は、各メーカーの取扱説明書などに従い作業を実施下さい。

以　上